

# 未来へのパスポート

~今月のテーマ~  
文化の秋を満喫!  
「たかちほハートフル作品展」を開催しました。

11月1日から7日までは「教育・文化週間」でした。

高千穂町生涯学習推進会議では、11月11日から13日まで、高千穂町武道館で「令和4年度たかちほハートフル作品展」を開催しました。教育・文化週間のキャッチコピー「大人も子供も、みんなが楽しく学ぶ週間。地域の大人たちが一体となって子供と触れ合う週間。・・・いろいろと学ぶ形はあるけれど、あなたも是非、“ともに学ぶ喜び”を味わってみませんか?」にふさわしい作品展になりました。



## 令和4年度 たかちほハートフル作品展

今回の作品展では、生涯学習の発表の場として町内の各種団体、幼稚園、保育園、各小・中・高等学校および町民の皆さんに募集を行い、個人・団体を合わせて33(作品数は1154点)の出展がありました。また、文化協会やサークルによる民謡や日本舞踊等の動画の上映や、高千穂町下野出身の画家、佐藤都氏の「神楽絵画展」も同時開催し、900人の来場者がありました。

来場者の方からは、「幼児から高齢者までの多くの作品に触れ、楽しく感動しながら鑑賞した」「子どもたちの作品を見て成長を感じた」「高齢者の作品を見て自分ももっと頑張らないと奮い立たされた」「大人の卓越した技術、子どもの自由な発想、見ていて面白かった」などの声をいただきました。

### 文化協会の動画上映

コロナ禍において、なかなか発表をする機会がないため、各団体の活動の成果を発表・披露する機会として、動画の上映を行いました。



### 佐藤都氏「神楽絵画展」

下野出身の画家佐藤都さんが、町や神社に寄贈された絵画を展示。魅力的な絵画や迫力のある絵画に美術館に訪れたような気分を味わうことができました。

### 出展者一覧(順不同 敬称略)

**団体:** キルトクラブ花みづき、刺し子艶、さき織り会、小原流千穂会、岩戸地区公民館女性連絡協議会、高千穂俳句会、高千穂町さんさんクラブ連合会、西臼杵地域障害者自立支援協議会、養護老人ホームときわ園、中央公民館(つまみ細工教室 ハンドメイド教室 BOXギャラリー)、がまだせ若竹会議、中央保育園、押方保育園、光寿保育園、旭ヶ丘保育園、天岩戸保育園、木の花幼保園、第一高千穂幼稚園、旭ヶ丘学童クラブ、町内小中学校・延岡しろやま支援学校高千穂校  
**個人:** 富高奈津子(書)、甲斐愛光(神楽面)、甲斐茂美(工芸)  
**動画:** 高千穂町文化協会…日本詩吟学院岳風会誠詠会高千穂支部、高千穂民謡保存会、高千穂さと神楽保存会(活動PR)、高千穂青葉会(舞踊)、花柳流花登会(舞踊)、穂高会(舞踊)  
その他発表団体…よせなべ会(昔話の語り)、手話サークルたかちほ(手話コーラス)

# 地域おこし協力隊の そう+なっちゃん! 高千穂

## 寄付教育

こんにちは!起業支援担当の末廣です。今回は、寄付教育について紹介したいと思います。

### 【寄付を教育する】

外国では一般的に行われている寄付教育が、日本の教育現場においては、ほとんどなされていません。

寄付教育で大切なことは、寄付について理解することだけでなく、「自らの多様な価値観に基づいて、寄付先を選ぶことや「楽しみながら寄付の成功体験をする」ことがあります。

### 【チャリティー絵画展】

2022年3月、町内でチャリティーを行いました。Kote君(私の甥っ子)の絵を売って寄付すると言うものです。

海外のアニメを見て「僕もやってみたい」と言ったことがきっかけでした。果たして絵を買ってくれる人がいるだろうか…。

不安とともに迎えた当日は、思った以上にお客さまが来てください、暖かい言葉をかけてくださいました。



レモネード(売り上げの一部が小児がん支援になる)を寄付してくださる方もいました。  
レモネード1ケースを寄付してくれた一滴の会の佐藤高功さん

レモネード(売り上げの一部が小児がん支援になる)を寄付してくださる方もいました。

当時担任だった幼稚園の先生は「今日は1番大きな絵を買おうと決めてきたの!」と言って買ってくださいました。

子どもの「やってみたい」気持ちに共感し、応援してくださる方がこんなにいるのかと見ていてウルウルしちゃいました。



お友達も来てくれて嬉しかったよ

### 【決算】

売上	23,500円
会場利用料	-2,350円(売上の10%)
消耗品	-2,758円(画材等)
寄付金合計	18,392円



皆さんのおかげで寄付することができました^ ^

### 【お友達募集】

2023年も3月末に予定しています。

次回はレモネードスタンドをやりたいそうです。

一緒にレモネードを売ってくれるお友達を2人募集します。寄付先はお友達と話し合って決めるそうです。

連絡先:コワーキングスペース452



末廣 美鶴希  
Suehiro Mizuki

高千穂町出身。  
大学院卒業後、約10年間製薬業界に従事。  
Covid-19の影響で完全在宅勤務を経験したことから「働き方」について考えるようになる。コワーキングスペース452にて起業支援がミッション。